

# 宮城の防災教育だより 第6号

平成28年7月発行 宮城県教育庁 スポーツ健康課



東日本大震災から6年目を迎えようとしています。県教育委員会では、防災教育の充実に向けて、さまざまな取組を行ってきました。これまでの取組の成果や課題等を生かし、防災教育の更なる充実とともに幅広い学校安全教育の取組として発展させたいと考えています。

## 平成28年熊本地震の被災地に寄り添う取組

このたびの熊本地震において、犠牲になられました方々のご冥福をお祈り申し上げます。

4月14日と16日に震度7の地震が発生した熊本県では、甚大な被害となり、さらに長引く余震により多くの方々が長期間の避難生活を余儀なくされています。また、現在は、大雨による土砂災害等の危険が迫るなど復旧・復興にはまだまだ時間がかかります。

そのような中、宮城県の多くの学校（園）が、東日本大震災で多くの御支援をいただいた恩返しとして、さらに震災を経験したからこそわかる被災された方々の思いに寄り添うため、熊本県の学校等に募金や励ましのメッセージを送るなどの支援を行っています。

また、県教育委員会では、5月12日から御船町の御船小学校と高木小学校に養護教諭等を派遣し、東日本大震災の経験を踏まえた子どもたちの心のケアや教職員へのアドバイス、授業等の補助の支援活動を継続しています。現在、御船町立滝尾小学校に派遣されている仲松晃主幹教諭（南三陸町志津川小学校）は「復旧復興に向かう中で子どもたちの笑顔のために頑張りたい」、同じく御船町立小坂小学校に派遣されている遠藤幸養護教諭（南三陸町立志津川中学校）は「地震などへの不安を抱えている子どもたちにしっかりと寄り添っていきたい」とそれぞれに決意をもって支援にあたっています。



◀ 岩沼市立玉浦小学校全校生による応援のメッセージ



◀ 滝尾小学校での派遣教諭の授業の様子

## 防災教育カリキュラムと地域連携の実践研究 みやぎ防災教育推進協力校事業

県教育委員会では、平成26年度からみやぎ防災教育推進協力校を指定し、児童生徒が主体的に行動できる態度を養うために、「みやぎ防災教育副読本（未来への絆）」を活用した防災教育の授業実践によるカリキュラムの構築、地域関係機関・団体等及びPTAとの連携のための実践研究により、各学校で活用できるモデルづくりを進めています。

今年度は、小学校及び特別支援学校の協力校に加えて、副読本の発行に合わせ、新たに中学校、高等学校が指定されました。取組の成果は各研修会等で報告しますが、さらに、同地域や同校種の協力校と取組上の課題や実践事例を情報交換する機会をもつなど、各学校の取組に生かしてください。

今年度の協力校は以下のとおりです。

前年度から 角田市立東根小学校、岩沼市立玉浦小学校、美里町立不動堂小学校、栗原市立栗駒小学校、石巻市立鮎川小学校、登米市立柳津小学校、南三陸町立入谷小学校、宮城県立角田支援学校  
今年度から 白石市立福岡中学校、多賀城市立東豊中学校、大崎市立鹿島台中学校、栗原市立築館中学校、東松島市立矢本第二中学校、登米市立佐沼中学校、南三陸町立歌津中学校、宮城県多賀城高等学校、宮城県亘理高等学校、宮城県石巻西高等学校、宮城県立迫支援学校

平成27年度の協力校の取組は、下記に掲載しておりますので、御覧ください。

宮城県教育庁スポーツ健康課ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/supoken/kyouryokukou.html>

## 県内における防災教育実践の広がり

各学校・地域において、防災教育の様々な実践が広がりを見せています。事例を2つ紹介します。

### 逆境に負けず自分の志を貫いた思いに触れる - 『志教育』と関連して-



森さんの話を  
真剣に聞く生徒

大河原町立金ヶ瀬中学校では、防災教育及び志教育の一環として、みやぎ防災教育副読本「未来への絆」（中学校用）に掲載の「ふるさとのいちご畑復活を夢見て」の主人公である亙理町吉田の森榮吉<sup>ひでよし</sup>さんを訪ねました。震災後、新たに完成したいちご団地を見学し、森さんから亙理町特産のいちごの復活にかける思いを聞き、地域での災害の備えにつなげるとともに、森さんの生き方から自分の将来の生き方を考える機会としました。

同校志教育担当教諭は、「実際に現地を見て、森さんから志を貫いた復興にかける思いを聞いたことは、子どもたち自身も今後に生かせる機会となり、志教育と関連させて取り組む意義は大きい。」と語っています。

みやぎ防災教育副読本  
に掲載の活用教材



### 地域との絆を深め、防災意識も高める学区民との合同防災大運動会

大崎市立池月小学校の運動会では、池月地域づくり委員会と連携し、2010（平成22）年から、健康とコミュニティづくり、防災意識の高揚を目指して、種目に防災活動を取り入れた学区民と合同の運動会として開催しています。プログラムには、小学生の徒競走の種目のほか、地域住民による災害時に欠かせない対応の要素を取り入れた種目（下記参照）などがあります。この合同の運動会を通じて、保護者だけでなく地域で子どもたちのがんばりを見守り、地域全体の安心安全につなげています。

#### ★★運動会で行う防災活動及び種目★★

- 安否確認・・・運動会開催の花火を合図に地区内ごとに実施。各家庭を回り、家族全員の無事を知らせる玄関先の黄色いハンカチなどで確認し、各地区の安否を運動会開会行事で災害対策本部に報告する。
- 「大声は救助の基本だ！」・・・「火事だ！」と大声で叫び、声の大きさを競う。
- 「火元はどこだ！水消火器だ！」・・・水消火器による消火の速さを競う。
- 炊き出し訓練・・・公民館が中心となり炊き出しを実施。

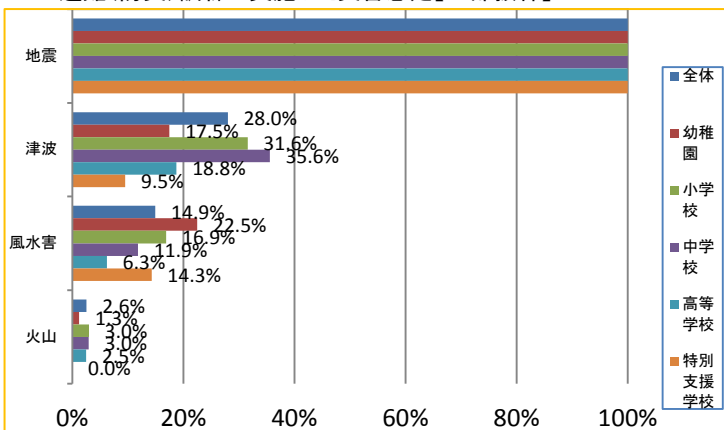


「大声は救助の基本だ！」で大声で  
叫ぶ住民

## 防災教育の見直しのために

## 「学校防災に係る調査」結果を生かして

避難（防災）訓練で実施した災害想定【一部抜粋】



県教育委員会では、平成27年度「学校防災に係る調査」結果を取りまとめ、各市町村教育委員会や防災部局担当者、安全担当主幹教諭が参加する圏域（地域）毎防災教育推進ネットワーク会議の場で報告をしました。

各学校（園）の防災教育の見直しにおいては、この調査結果を参考にし、地域の災害特性を考慮した災害発生時の対応や防災教育の一層の充実に努めてください。

調査結果は下記に掲載しておりますので御覧ください。

宮城県教育庁スポーツ健康課ホームページ

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/supoken/anzen.html>

### 【防災教育を中心とした学校安全フォーラム開催のお知らせ】

県教育委員会では、東北大学災害科学国際研究所と連携し、県内や全国の先生方と防災教育をはじめとする安全教育について考えるフォーラムを開催します。

期日：平成28年11月24日（木）10：15開会 会場：東京エレクトロンホール宮城  
近日、各学校（園）にご案内します。たくさんの先生方の参加をお待ちしております。



宮城県教育庁 スポーツ健康課

〒980-8423 仙台市青葉区本町3-8-1  
TEL 022-211-3667 FAX 022-211-3796



●このリーフレットの制作は平成28年7月です。